令和元年９月12日　00447号
編集者:佐 藤 寿 春
北見市幸町８丁目4-4(佐藤整骨院内)
NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行
直通:090-5986-0839
代表:0157-22-2212　Fax:0157-23-0581
satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ＵＲＬ　http://www.kitamibudokan.org/

ニュースレター【事務局情報】　全日本優勝者指導による空手講習会が開催されました！

８月２４日（土）北見市武道館（道場２）で空手組手講習会が行われました。講師の石塚将也氏は帝京大学空手部在籍中、第５８回全日本学生空手道選手権大会優勝の戦績に加え大学卒業後、盛岡市役所に勤務、「2016 希望郷いわて国体」空手道競技男子組手重量級優勝を始め、EAKF 東アジアシニア空手道選手権大会男子組手-84 kg級優勝３連覇など輝かしい経歴があり、子供たちは憧れの有名な指導者による講習会に目を輝かせていました。また、２５日（日）は第４回柏悠会空手道交流戦が大勢の参加者で行われました。

道振興協会事務所の花シリーズ　番外編「金茶山猪口：キンチャヤマイグチ」

８月２７日（火）北見市武道館の利用者さんが東陵公園内の白樺林に「金茶ヤマイグチ」が生えているのを発見！持って来てくれました。「このきのこは食べられるよ」と嬉しそうに説明してくれます。「ヤマイグチ」との違いは、傘に見える頭が金茶色で切ると白い肌から紫色へ変色するのが特徴です。どちらのキノコも食べられるとのことですが、「食べてみますか？」と勧められましたが、毒キノコを食した経験のある私としては、とても頂くことが出来ずにお断りをすると、持ち帰って料理し試食するとのことでした。そんな勇気はありませんが、又、珍しいものを見付けたら紹介してください。〈佐藤〉

連載「武道宝鑑」第22弾　剣術極意（千葉周作遺稿『剣法秘訣』より）剣術修行心得（24回目）

二段突きとは、向こうの右籠手を打たんとする色を示せば、向こうの籠手を防がんとして、太刀を下段に直すものなり、その所を向うの左より諸手にて喉を突くをいう、又突き懸けとは、向こう星眼の太刀を下段に直し進まんとするその起り頭の喉を目掛け、諸手にて突き付け押し行くをいう。又諸手面とは、諸手にて上段に振り上げ、向こうの面へ打ち込むをいう。不断の稽古にも、兎角気を先々とかくべきことなり、立ち合えば、直ぐに突くぞ、打つぞと言う気にならねばならぬものなり。受ける留めるという気にならぬ様に為すべし。直心影という流派は、至極の剣術にて、一と勝負ごとに折れ敷き、又は箕踞して、はつはつと大息をつき、扨立ち合へば上段に取り、直ぐに打つ気合になり、終始先々と廻り居るなり。・・・つづく